

2020年11月4日

## **BAT グループの企業戦略 「A Better Tomorrow (より良い明日)」の実現に向けた取り組み ならびに glo™の科学的評価に関する最新の研究結果について**

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン（本社：東京都港区赤坂、社長：ジェームズ 山中、以下「BATJ」）は、BATグループの企業戦略「A Better Tomorrow (より良い明日)」実現に向けた取り組み、ならびに加熱式たばこ（THP）glo™に関する最新の科学的研究成果を発表しましたのでお知らせいたします。

日本のたばこ市場においては、紙巻たばこからニュー・カテゴリー製品（いわゆる非燃焼製品）へのシフトが急速に進んでいます。その背景として、消費者自身の健康意識の高まりに加えて、周りの人々への影響を重視したことが大きな要因として挙げられることが明らかになっています。

このような消費者ニーズの変化に的確に対応するため、BATJでは「消費者主導」の製品イノベーションと科学研究を中心に据え、THP、モダンオーラル製品を含むマルチ・カテゴリー・アプローチを推進してまいりました。

今後もBATJは確固たる科学的エビデンスに基づき、たばこハームリダクションへの取り組みをさらに前進させ、消費者の皆様にお楽しみいただける、そしてリスクが低減された製品の選択肢を増やし、我々の事業が健康に及ぼす影響を低減することによって、BATグループの企業戦略「A Better Tomorrow (より良い明日)」の実現に向けて取り組んでまいります。

また、glo™のリスク低減の可能性について、これまで実施してきた科学研究の最新の成果を下記の通りお知らせします。

## ■ glo™の科学的評価に関する最新の研究成果について

紙巻たばこから glo™に完全に切り替えた喫煙者は、喫煙関連疾患にかかるリスクが大幅に低減する可能性があります。また、生活の質（咳き込み、息切れ、疲労感等）については禁煙した場合に近い改善を示しました。

- 特定の有害性物質への曝露の低減の度合いは、完全に禁煙する場合とほぼ同じ。
- 紙巻たばこからの完全な切替えの効果を評価するための、1年間にわたる調査研究の最初の3カ月間の結果を発表。
- 被験者のルール遵守を評価するため、独自のバイオマーカーを導入。
- glo™には紙巻たばこと比べて、社会的配慮という面で非常に大きな利点がある。

最新の科学的研究の結果、紙巻たばこと比べ、glo™のリスク低減の可能性が示されました。また、紙巻たばこから glo™に完全に切り替えた喫煙者では、3カ月の試験経過後、紙巻たばこの煙に含まれる特定の有害性物質への曝露が大幅に減少することが判明しました※1。

測定した有害性物質の多くについて、曝露の程度は完全に禁煙した者とほぼ同等でした。権威ある公衆衛生機関が、「リスク低減たばこ製品と見なされるためには、完全な切替えが禁煙と同様の結果をもたらさなければならぬ」との見解を示していることから、このたびの調査結果は、我々の事業が健康に及ぼす影響を低減することによって「A Better Tomorrow（より良い明日）」を築くという BAT グループの企業戦略を後押しするものと考えています。

さらに今回の調査結果では、紙巻たばこから glo™に切り替えた喫煙者は、有害性物質への曝露レベルが大きく低減されることにより、喫煙関連疾患が発現するリスクが下がる可能性があることが示されました。この調査は今後も継続され、glo™への切替えの影響についてのさらなるエビデンスや調査結果は、調査が完了した段階であらためて発表を予定しております。

このほか、日本の喫煙者に関して、THP の導入効果を測定する集団リスク評価から得られた新たなデータも発表されました。仙台、東京、大阪在住の4,500名以上の喫煙者を対象とする調査結果から、THP への切替えの主な理由として、より幅広い社会的配慮に加え、健康への影響と二オイの低減の可能性が挙げられていることがわかりました。同時に、咳き込み、息切れ、疲労感などのパラメータを使い、生活の質（QoL）自己評価スコアを調査参加者に示していただきました。glo™の使用者では QoL に関して改善が得られましたが、これは臨床試験の結果と相関関係があります。glo™に切り替えた人は、禁煙した人と同じように咳き込みが改善するという結果が得られました。

BAT グループ英国本社 PRRP※2 サイエンス部門責任者、ジェームズ・マーフィー博士（Dr James Murphy）は次のように述べました。

「glo™などのニュー・カテゴリー製品への切替えを検討中の喫煙者は、紙巻たばこに比べてこれらの新製品がもたらすと期待されるメリットと健康影響の軽減の可能性について、もっと知りたいと考えていると私たちは理解しています。

※1 喫煙から加熱式たばこへの切替えが健康効果指標に与える影響を評価する12カ月間のランダム化比較試験：予備的調査結果：Gale N, McEwan M, Hardie G, Ebajemito J, Camacho O, Proctor C J, Murphy J

※2 PRRP = Potentially Risk-Reduced Products (健康リスク低減の可能性を秘めた製品)

上述の glo™に関する初期的な調査結果は非常に明るい材料です。glo™は、たばこやニコチン製品の使用の継続を希望する喫煙者に、リスク低減の可能性がある代替案となることができます。消費者の皆様にお楽しみいただける、そしてリスクが低減された様々な製品をお届けすることによって、事業が健康に及ぼす影響を低減する道のりを歩み続ける我々にとり、これらの結果はさらなる前進だと考えています」

さらに、BATJ社長のジェームズ 山中は次のように述べました。

「私たちは、BATグループの企業戦略である『A Better Tomorrow (より良い明日)』の推進を通じて、事業が消費者の健康に与える影響の低減を目指しています。消費者の皆様にお楽しみいただける THP をはじめとするニュー・カテゴリー製品を選択して頂けるよう、リスク低減製品であるとの明確な科学的エビデンスを提示すべく、研究開発をさらに加速させてまいります。

しかし、よりリスクの低い製品への移行の加速は、たばこメーカーの努力だけで達成できるものではありません。科学的なエビデンスに基づいて、規制当局や公衆衛生の専門家を含む様々な利害関係者が協力して取り組むことによって、消費者が納得できる製品選択を可能にしつつ、たばこに関連する公衆衛生の目的を達成する、効果的な規制ソリューションが可能になると考えます。

具体的には、ニュー・カテゴリー製品に対して、そのリスクに応じた税制や規制が実現できれば、メーカーとしては、リスク低減製品への研究開発投資の継続・加速をさらに進めることができ、消費者やたばこ製品を消費されない周りの方々の健康に及ぼす影響の低減、さらには、今後成長が期待されるニュー・カテゴリー製品からの安定的な税収確保が可能となるでしょう。すなわち、たばこメーカー、消費者・非消費者、税・規制当局などの利害関係者にとって Win-Win-Win となり、BATグループが目指す『A Better Tomorrow (より良い明日)』の実現に近づくことになると考えます」

## **ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン 会社概要**

社名：ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン

所在地：〒107-6220 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウンタワー19F (受付)

代表者：社長 ジェームズ 山中 (James Yamanaka)

概要：ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパンは、多様な消費財ビジネスにおける世界のリーディングカンパニーです。日本では1984年にたばこ販売事業を開始し、現在100種類以上の紙巻たばこ製品および次世代たばこ製品を販売しています。日本での主カブランドには、ケント、クール、ラッキー・ストライク、ネオがあります。

## **BATグループについて**

BATは、1902年に設立された、消費者向けマルチカテゴリー製品のリーディングカンパニーです。消費者の皆様にお楽しみいただける、そしてリスクが低減された製品の選択肢を増やし、我々の事業が健康に及ぼす影響を低減することによって、「より良い明日 (A Better Tomorrow)」を築くことを目指しています。私たちは、時間をかけて、収益源を紙巻たばこから非燃焼性製品に徐々に移行させるという壮大な希望を持っています。

## glo™について

当社の主力 THP である「glo™」は、特殊な設計のたばこスティックを 300℃以下で加熱するバッテリー式デバイスで構成されます。このプロセスでニコチンを含むたばこ味のエアロゾルが生成され、ユーザーがこれを吸引する仕組みです。glo™は英国で設計されましたが、設計プロセスには、科学者、エンジニア、製品デザイナー、たばこ専門家、毒物学者など、五大陸の専門家 100 名以上が参加しました。glo™デバイスは、ボタンが一つだけ付いている単体ユニットなので、直感的に簡単に使えます。たばこスティックを燃やさないので灰は出ません。